

活着促進・スムーズな分げつ確保には是非『マグホス』を！



直下根もそうだけど、毛細根もすごく増えてるね！



無施用区

マグホス区

◎リン酸の性質

1、利用率が悪い

チッソ	リン酸	カリ
50~60	10~20	50~60

2、低温時は効きにくい

温度	チッソ	リン酸	カリ
30℃	100	100	100
16℃	68	56	79

3、低日照は効きにくい

照度	チッソ	リン酸	苦土
100%	100	100	100
26%	40	33	67



そっかあ！！

リン酸は、気象条件が悪いと効きにくいんだね！
だから元肥にリン酸が良く効く、「マグホス」を施用すると、
田植え時の天候にも左右されずに、イネの発根がスムーズで、
初期生育も順調なんだね！



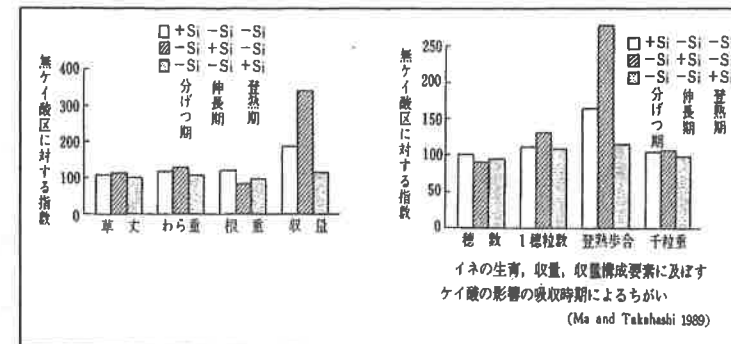
リン酸は、植物だけでなく、あらゆる生物にとってのエネルギー源となります。
イネの場合は、根の先端や分げつ芽、穂作り時など、新しいものを作り出す時に、
リン酸のエネルギーを多く必要とします。

倒伏軽減！！ 食味向上！！

マグホス

食味向上にケイ酸・苦土が効く！！

ケイ酸には、耐倒伏性の強化、光合成能力の向上といったプラスの効果があります。
特に、生育転換期以降のケイ酸の効果は食味向上に大きく影響します。(下図参照)
それに加えて、苦土を含みますので、光合成の場である葉緑素を強化することにより、
登熟が向上します。



収穫後の品質が違う！！

「食味が向上した」
「施肥した圃場と、施肥していない圃場の玄米水分含量が違う」
「稲が夏バテを起こさなかった」
「玄米の色がみずみずしい」等、様々な生産者の方からの声が届いています。
特に昨今の登熟期の高温乾燥条件の中、施用した圃場の玄米水分が「過乾燥になっていなかった」ということは、品質および食味に大いに貢献していることでしょう。
このことは、『マグホス』に含まれるリン酸、ケイ酸、多種多量の微量元素が根を守り、
稲が健康であったことが考えられます。

【施用方法】

◎調節肥に40Kg/10a施用してください。

(※) 調節肥とは、出穂の35日前ごろに生育転換期をスムーズに移行するために施用する肥料のことです。6月下旬ごろ

◎イネの徒長を抑え、地下部優先の生育に変えるため倒伏に強くなります。

お問い合わせ

健全でうまく大きく美しく

〈リンサン〉×〈苦土〉×〈各種微量元素〉の効果

マクホス

〈く溶性リンサン〉

〈うち水溶性リンサン〉

〈く溶性苦土〉

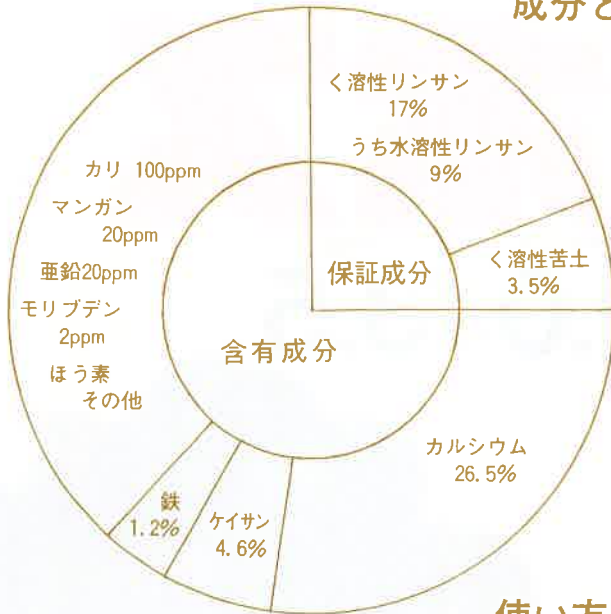
17.0 〈9.0〉/3.5



多木肥料

マクホス

成分と特長



- 効きめの特にすぐれたリンサンと苦土を含んでいます。
- 各種の微量元素が吸収されやすい状態で含まれています。
- 土の中では弱酸性～中性になるので植物によく、土壌を荒らしません。

使い方と効果



春肥(開花前)

- 発根がよくなり春のスタートも早く、りっぱな花を咲かせます。
- 生産力の高い葉ができます。



夏肥(6月～7月)

- チッソがうまくコントロールされ、着色がよく糖度が上がります。
- 花芽分化がよくなります。



秋肥(9月～10月)

- 秋根の発根がよくなり、翌年のための養分をタップリ貯蔵します。
- 花芽が充実し、また、耐寒性が向上します。



冬肥(11月～12月)

- リンサンと苦土、各種微量元素の働きにより土壌中の微生物が増加し、地力を高めます。

施肥量

各施肥時期とも40～80kg/10a

保管・使用上の注意

- 幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 施肥作業後は、洗眼やうがいをし、皮膚への付着物を洗い流して下さい。

取扱い店

多木化学株式会社

〒675-0124 兵庫県加古川市別府町緑町2番地